

再発防止策の進捗状況 (2019年12月31日時点)

進捗状況の分類			
着手	具体策の詳細検討中	実施中	具体策の実施中
		完了	具体策の完了
		その他	状況に応じて対応

※「完了」後も継続すべき具体策は、継続してまいります。

※更新箇所は、No欄をハイライトしております。

(3) 検査体制・方法の改善

① 検査体制

i) 品質保証機能の独立性強化 ▶ 戻る

具体策			
KSMにおいて、品質保証部が性能検査及び立会検査の全てを実施し、その結果を管理する等、製造部門から独立した部署による品質検査の実施を行う。また、全社・全グループにおいて最終合否判定に関わる検査員を製造部門以外への所属とする等、品質検査の独立性も強化する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
40	a. KSMでは、性能検査及び立会検査の全ての検査を品質保証部員が実施する体制にしております。	2019年1月完了 (2019年7月公表)	完了
41	b. 当社(KYB)及びKSM以外の国内グループ企業に対して、最終合否判定の検査をしている従業員を製造部以外の所属とする等の異動を順次行っております。 また、海外グループ企業は、現状調査を行いつつ、独立性の強化を進めております。	2020年3月 完了予定	実施中

ii) オイルダンパー立会検査時の検査方法の改善 ▶ 戻る

具体策			
本再発防止策に基づく品質管理方法が確立するまでの間、減衰性能検査における第三者機関の全数立会検査を継続する。併せて、立会検査の代替方法として、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組み等の検討も行う。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
42	a. 第三者機関による全数立会検査を継続中です。 また、希望する発注者様による立会検査も実施しております。	2018年11月開始	実施中
43	b. KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置※1及び検査装置※2の試運転を10月から開始しております。 今後も、発注者様及び発注者様が指定する第三者機関が社外のサーバを介して検査情報のチェックができる仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。 また、既設の全検査機についても同システムへの移行を順次行います。 ※1…オイルダンパーを加振させ、位置・荷重等の加振データを測定する機械・装置であり、動力盤、油圧源、アクチュエータ、ロードセル等で構成される ※2…プリンター及びオイルダンパー加振装置の駆動信号、測定結果の読込・保管等を行う性能評価ソフトウェア等で構成される	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中

iii) 検査マニュアルの整備 ▶ 戻る

具体策			
オイルダンパーを含む当社グループ全製品の全検査行程にて、熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断をマニュアルとして整備する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
44	当社(KYB)及び国内外グループ企業は、検査工程において熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断に関するマニュアルを整備し、当社品質本部が本年度の品質監査計画においてそのマニュアルの確認を行っております。	2020年3月 完了予定	実施中

2019年度計画と12月時点実績 ・当社(KYB)：4拠点（内4拠点済） ・国内グループ企業6社（内6社済） ・海外グループ企業12社（内10社済）		
-------------------------------------------------------------------------------------	--	--

[このページの先頭へ](#)

②検査機の不正防止措置

i) オイルダンパー検査機のソフトウェア変更の社内手続厳格化

[▶戻る](#)

具体策			
オイルダンパー検査機のソフトウェア変更手続きについて、KYB本社品質管理部の承認取得を義務づける。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
45	オイルダンパー検査機では、検査システムのソフトウェア変更の際は、当社(KYB)の品質本部の承認を必要とする旨の「変更管理規則」の改定を実施いたしました。	2019年4月完了 (2019年7月公表)	完了

ii) オイルダンパー検査機ソフトウェアの定期的モニタリング

[▶戻る](#)

具体策			
品質保証部等の製造部門から独立した部門による品質監査でオイルダンパー検査機のソフトウェアの状況を定期的にモニタリングする。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
46	当社(KYB)の品質本部は、KSMに対してオイルダンパー検査機のソフトウェアの独立的監査を、毎月継続しております。今後、定期的にモニタリングするルール等を規程化してまいります。	2019年3月開始	実施中

iii) 人為作業を介さない検査結果の自動記録化

[▶戻る](#)

具体策			
性能確保に必要な生データ（設定値、入力値、計測データ等）を検査機内に自動的に保存するとともに、個々の製品が世の中で使用されている期間は本データを外部記憶媒体内（サーバなど）に自動的に保存される仕組みを導入する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
47	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月から開始しております。今後も、人為作業を介さず生データ（設定値、入力値、計測データ等）を社内及び社外のサーバに自動的に保存される仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中

iv) 検査プロセスの自動化推進

[▶戻る](#)

具体策			
検査成績書出力までの検査プロセスを自動化することにより、データ改ざん防止の仕組みを導入する。また、抜き打ちで品質管理部門の責任者が生データと検査成績書を照合する等、チェックできる仕組みを導入する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
48	a. KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月から開始しております。今後も、人為作業を介さず検査成績書出力までの検査プロセスを自動化する仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中
49	b. 現在実施している当社(KYB)の品質本部による検査成績書と生データを照合する監査手続きを踏まえ新検査システム構築後、当社(KYB)及びKSMの品質管理部門の責任者が定期的に照合しチェックできる仕組みを検討してまいります。	2020年4月 完了予定	実施中

v) オイルダンパー検査機へのアクセス管理の強化

[▶戻る](#)

具体策

生データへのアクセスが特定の者に制限されている仕組み、および第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組みを導入し、生データの保全措置を図る。

No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
50	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月から開始しております。今後も、生データへのアクセスを特定の者に制限しつつ、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる生データの保全措置を、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機と同システムへの移行も順次行います。	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中

vi) 性能試験データのトレーサビリティ確保

[▶戻る](#)

具体策

オイルダンパーの製品の検査履歴・要求性能・生データを記録する媒体をオイルダンパー本体に装着するなど追跡調査可能な検討を行う。

No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
51	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月から開始しております。今後も、オイルダンパーそれぞれの要求仕様及び検査結果をシリアル番号で一元管理し追跡調査可能な仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機と同システムへの移行も順次行います。	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中

[このページの先頭へ](#)